

第30回都市経営会議 平成25年(2013年)3月13日(水)開催

議題1 平成24(2012)年度宝塚観光花火大会事故検証に伴う報告書について
(報告)

【提案】 産業文化部

2012年(平成24年)8月3日、4日に開催した宝塚観光花火大会において発生した花火の残滓による事故(2件)に関し、事故内容の検証及び対策について検討し、今後同様の事故を防止するために報告書を作成したので報告する。

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 宝塚観光花火大会では、2.5号玉に紐をつけて(38~40cm程度ジュート麻紐を煙火玉に施す)まっすぐに揚がるようにし、2.5号玉に必要な保安距離を100mから70mに緩和している。仮に70mを超える保安距離を設定した場合は、観覧席が減少し、収入が減少するとともに、観覧席に入れなくなった観客があふれ、雑踏警備にも支障をきたすことになる。警察からは、雑踏警備の対策も既に限界にきているとの指摘を受けている。
- ・ 安全確保のためには、観覧席を減らしてでも保安距離を設けるべきではないか。観客に対して注意喚起を行うということだが、夜ということもあり、効果が期待できないのではないか。
- ・ 保安距離については、花火大会の許可権者である県からも厳しい意見が出されている。85mの距離は設けるようにとの指示を受けることも予想している。その場合、南側の観覧席は全く取れなくなる。北側の観覧席もとれなくなるし、本部席ですら設けることができなくなる。大会運営に大きな影響が出る。しかし、今回の事故も70mの保安距離の外側で発生している。そのため、保安距離は十分に確保することが必要であると考えている。
- ・ 今回の事故が初めてではない。以前は会場付近にいくつも旅館があったが、現在では少なくなった。また、花火大会終了後の観客の引きも早い。ソリオ宝塚商店街にしても早々と店舗を閉めている。安全面を優先するのであれば、会場の変更についてまで検討してもよいのではないか。
- ・ まずはこの場所でどれだけの安全対策が図れるのかを検討したい。また指摘された事項についても、共催者である国際観光協会と協議し、検討したい。
- ・ 本編に警戒レベルとその対応が記載されているが、地上風速が大きなポイントになると考えている。地上風速の測定地点はどこで確認されているのか。その地点で適当であるのかどうかの議論はあったのか。
- ・ 地上風速は、本部席の横で測定した数値であるが、打ち上げ台の所でも測定している。

どこで計測するのが最も参考になるのかということはあるが、上空に上がってからの風速が強いということもある。地上と上空での風速の両方に注意を払う必要があると考えている。

- ・ 危機管理指針との関係であるが、今回の事故の結果を踏まえ、詳細なマニュアルを作成することになると思うが、その際には、危機管理担当との調整をどうしていくのかにも配慮した計画となるようお願いしたい。
- ・ 本来なら完全燃焼するはずの「星」と「蜂」が燃え尽きずに落ちていたということである。今回は、たまたま落ちたのか。それとも煙火消費の仕方が悪くて完全燃焼しなかったのか。確率的に、燃え尽きずに落ちてくるというものであるならば、現在の70mの保安距離では不十分ということになるのか。
- ・ 日本煙火協会の意見を聞いた。保安距離の考え方は、保安距離の外側には危険物が落ちないという意味ということであった。危険物というのは、火のついたままの花火という意味である。言い換えれば、燃え尽きた後の燃えかすは保安距離外に落ちてくることもあり、保安距離外も絶対的に安全という意味ではないということであった。つまり、花火の燃えかすが落ちてくることは許容範囲内のリスクであるとのことである。基本的には、燃えたままのものは保安距離の外に落ちてこないが、熱を持った状態の残滓が落ちてくることはありえるということである。「星」と「蜂」が今回燃え尽きなかったことの原因ははっきりしていない。
- ・ 報告は、どこに対して行うのか。
- ・ 花火大会の許可権者である県や警察にも報告する。しかし、最初に被害者の方に報告したい。また、市議会にも報告し、記者クラブにも話をする。
- ・ 対策としてあげていることが本当にできるのか、雑踏対策等にも影響がでないのか、100%この場所で安全な大会が実施できるのかなどについて、まず確認したい。それが無理だとなれば、早急に次のステップの検討に移りたい。
- ・ 無理かどうかはどこで議論するのか。
- ・ 共催者である国際観光協会と協議のうえ担当部として議論し、都市経営会議へ報告したい。

議題2 宝塚市子どもの読書活動推進計画（第2期）の策定について

【提案】 社会教育部

宝塚市子どもの読書活動推進計画（第2期）の策定のために実施したパブリックコメントについて、実施結果を報告する。パブリックコメントでは、大きな修正を伴う意見の提出がなかったため、軽微な文言の修正のみを行い、策定を進めることとする。

【結果】 承認

【質疑等】 特になし